



5 地域別の施策展開

5-1 都心部

(青写真 66頁～72頁 ロードマップ 73頁)

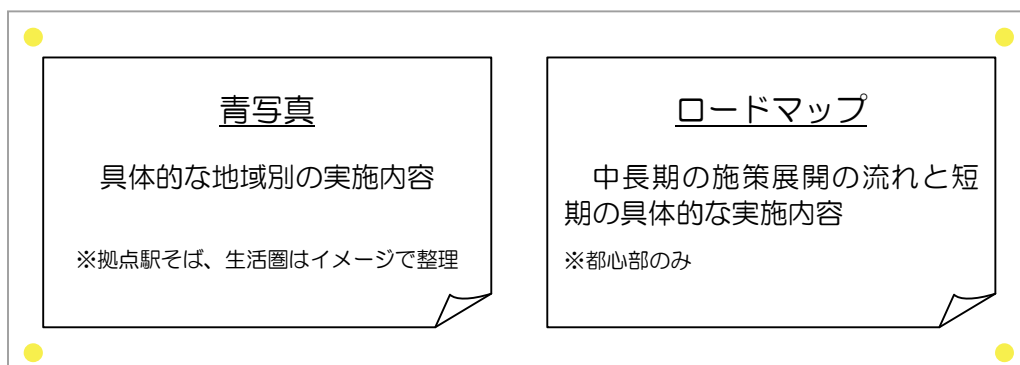
広域的で魅力ある文化・商業施設が集積し、広域交流の場となる「都心部」における取り組み

5-2 拠点駅そば・生活圏

(青写真 74頁・75頁)

主要鉄道駅の駅政権を中心とした地域交流の場となる「拠点駅そば」及び主に住居系土地利用の地域の生活交流の場となる「生活圏」における取り組み

(参考) 資料構成等



5-1 都心部における施策展開

交流と憩いのみちの創造により賑わいと活気に満ちあふれたまちへ

都心のまちづくりが目指す姿

リニア中央新幹線の開業を見据え、名古屋大都市圏をけん引する国際競争力を有する都心の形成を目指しています。

本計画においても、こうしたまちづくりを支えるため、関連するまちづくりの計画（※）と連携をとりつつ、道路空間の主役転換、自動車の都心部への集中緩和、移動手段の多様化の取り組みを中心に施策展開を図ります。



図 5-1-1 都心のまちづくりのイメージ図

【名古屋駅周辺地区】

ターミナル機能強化、シンボリックなまちなみの形成、賑わい歩行者空間のネットワークの構築と交流拠点の形成により世界都市名古屋にふさわしい活力ある複合都心を目指しています。

【栄地区】

様々な手段で訪れる人々の利便性を確保・向上しつつ、公共空間において、歩行者を中心とした整備や活用促進のための仕組みづくりに取り組むことで、魅力ある豊かな空間に人々が集い栄える交流都心を目指しています。

【連携軸】

歩く楽しさと地上の賑わいにより人々が行き交う賑わい連携都心を目指しています。

【都心界隈】

多様で魅力ある界隈の創出と連携により多様で魅力が集積する界隈都心を目指しています。

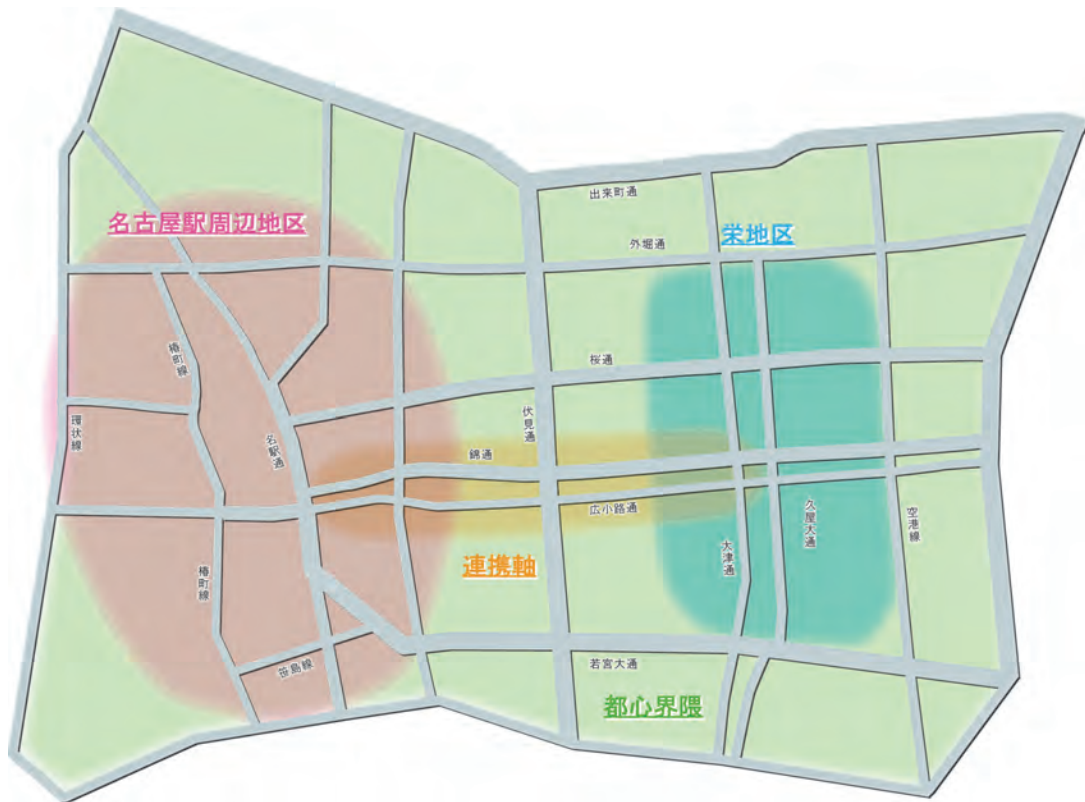


図 5-1-2 都心部におけるまちづくりのエリア

※ 【関連計画】

○名古屋市都心部将来構想（平成16年3月策定）
 名古屋市都心部においてまちづくりを進めていく上での長期的視点に立った共通目標を明らかにしたもの



○栄地区グランドビジョン（平成25年6月策定）
 「名古屋市都心部将来構想」をふまえた栄地区のまちづくりを実現するための基本方針をとりまとめたもの



○名古屋駅周辺まちづくり構想（平成26年9月策定）
 リニア中央新幹線の開業を見据え、名古屋駅周辺の新たなまちづくりを進めるための共通目標となる基本方針と具体的な取り組みをとりまとめたもの



- 都心部の幹線道路の交通機能を整理した上で、道路空間の主役転換、自動車の都心部への集中緩和及び移動手段の多様化の取組みを一体的に進め「人が主役の空間」を創る



①道路空間の主役転換

- 幹線道路及び区画道路において、人々が憩い・集う・魅力的で安全なふれあい空間を創出する



②自動車の都心部への集中緩和

- 都心部内の駐車場を集約化する
- 駐車場整備抑制地区を指定し、駐車場の数を減らす



③移動手段の多様化

- 都心部内の移動手段の選択肢を増やす



④幹線道路の交通機能の整理

- 都心部を通過する交通を都心環状道路に迂回誘導
- 都心部を目的地とする交通を都心アクセス道路に集約
- 多機能道路に自動車交通機能以外の機能を付加

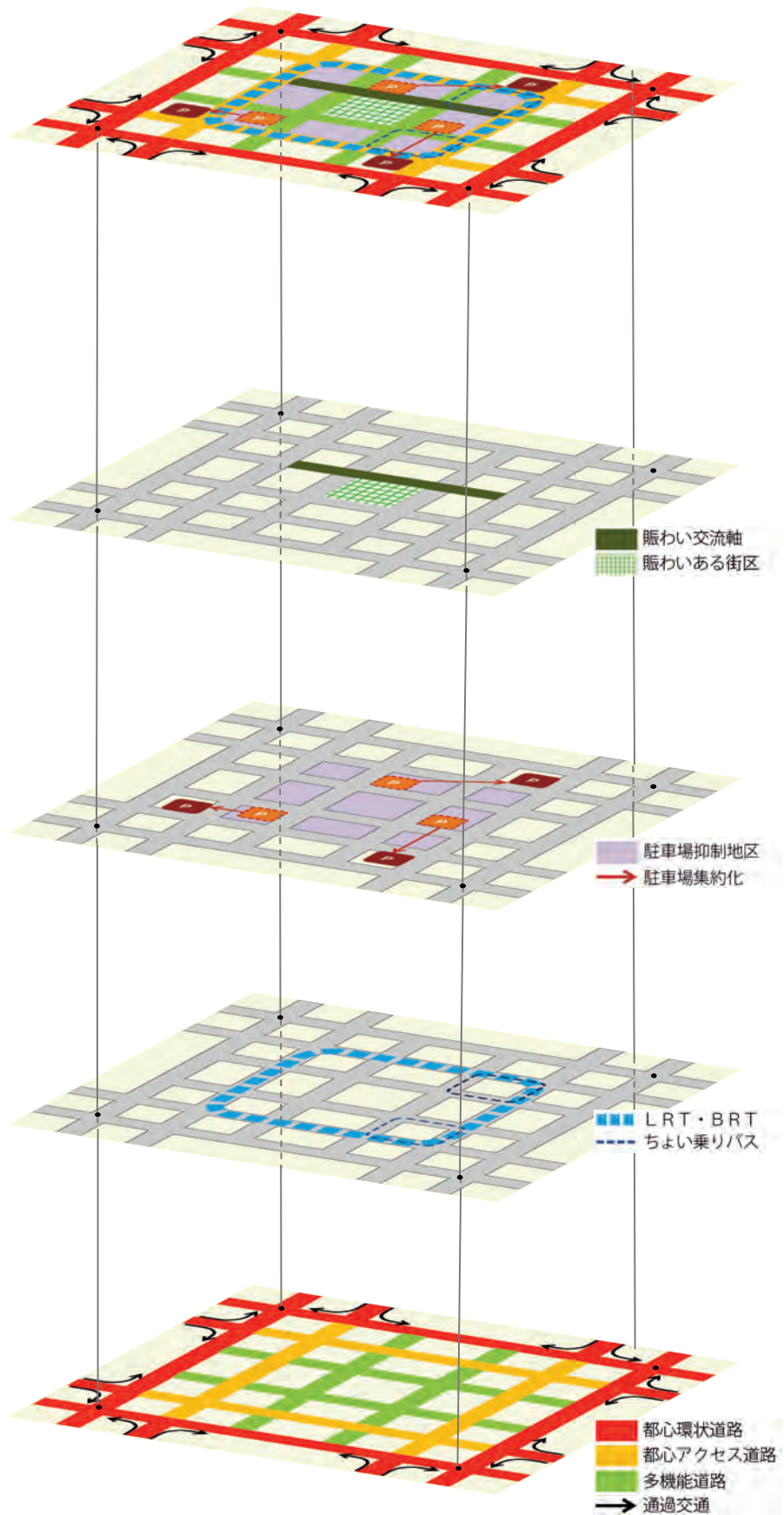


図 5-1-3 施策展開イメージ図

道路空間の主役転換

賑わい交流軸

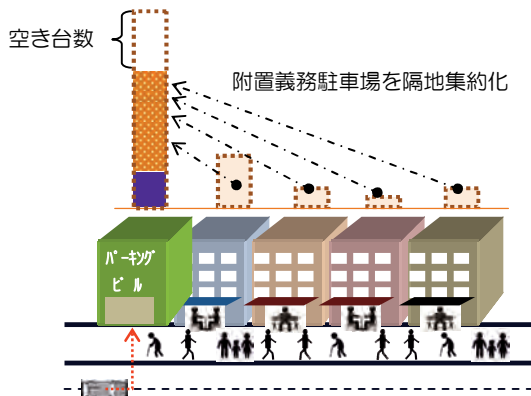


賑わいある街区

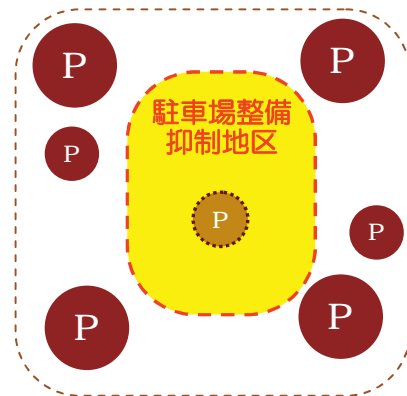


自動車の都心部への集中緩和

駐車場集約化



駐車場整備抑制地区



移動手段の多様化

LRT・BRT



ちよい乗りバス



道路空間の主役転換

都心部の道路空間を、人が主役の歩いて楽しい賑わいのある“みち”へと変えていくために、“みちまちづくり”の最も象徴的な取り組みとして、幹線道路の一部を「賑わい交流軸」と位置づけ、車線減等による歩行者空間の拡大や賑わいの誘導に関するソフト的な取り組み等、さまざまな取り組みを行っていきます。

また、区画道路においても、地域と連携し、道路空間の見直しに関する取り組みを進め、「賑わいある街区」づくりの具体化を図ります。

事業一覧

・賑わい交流軸の形成

多機能道路のうち、都心部の中心核である名古屋駅周辺地区及び栄地区並びに両中心核を連携し一体的な都心の形成を促す連携軸において、賑わいの現状をふまえ、とりわけ賑わい創出が期待できる路線として、特に歩行者が多い道路をベースに連続した一定の区間を「賑わい交流軸」と位置づけます。

○「賑わい交流軸」の路線・区間と空間イメージ

【名古屋駅周辺地区】

◇名 駅 通：中央郵便局交差点-笹島交差点

玄関口として風格や賑わいが感じられ、駅からまちへのつなぎとなる空間

【栄 地 区】

◇大 津 通：栄交差点-矢場町交差点

大規模商業施設や路面店の集積と歩行者天国の取り組みを活かし、楽しく歩ける賑わい空間

◇久屋大通：久屋橋交差点-若宮大通久屋交差点

豊かな公園空間と一体となった人々が集い・憩い・楽しむ空間

【連 携 軸】

◇広小路通：笹島交差点-広小路久屋東交差点

名古屋駅周辺地区と栄地区をつなぎ、一体的な都心の形成を促す賑わい交流空間

「賑わい交流軸」の形成にあたっては、賑わいの創出のために必要となるソフト面での環境整備等についても取り組みながら、地域の機運をふまえ、整備区間や整備内容などを具体化していきます。

その具体化にあたっては、地下街などとの連続性の強化にも配慮しながら、必要に応じて近接する多機能道路との一体的な整備についても検討を行います。

また、都心部を通過する交通の誘導のあり方、名古屋駅や沿道施設へのアクセスの確保、周辺道路への影響の緩和などの課題事項を地域や路線ごとに検討・検証しながら段階的に実施していきます。

・整備プログラムに基づいた道路整備

椿町線、笹島線の早期整備を目指します。

・賑わいある街区づくり

賑わいある街区を創出していく取り組みを機運の高い地域で実施していきます。

・都心部周辺道路の迂回機能強化

・自転車走行空間の確保

・路面公共交通等の走行環境の改善

・歩行環境の改善



自動車の都心部への集中緩和

道路とともに自動車利用において不可欠な施設である駐車場について集約化を図り、新規の整備を抑制するため、各種附置義務制度など新たな開発等に伴う駐車場整備基準の見直しを進めることによって、自動車の都心部への集中緩和を図ります。

事業一覧

- 新たな開発等に伴う駐車場整備基準の見直し
既存駐車場への集約化や公共交通利用促進策実施事業者に対する緩和等、地域の実情にあわせた運用ができるように、駐車場法に基づく附置義務制度など各種制度を見直します。その際には、既存の駐車場の取り扱いについてもあわせて検討します。
- 都市計画駐車場の新たな利活用
附置義務駐車場の集約先としての利用を可能にすることなど、都市計画駐車場の役割を見直すとともに、自動二輪車駐車場の確保、EV充電施設整備、カーシェアリングスペースの設置など、まちづくりにおいて求められる機能の拡充・促進を図ります。また、栄地区において一体的な利用ができるよう検討を進めます。
- 共通駐車券制度の導入誘導
- 小規模駐車場等に対する設置基準等の創設
- 都心部乗換駐車場の位置づけと機能拡充
- 駐車場整備地区の見直しと「駐車場整備抑制地区（仮称）」の指定



移動手段の多様化

自動車に頼らず快適に楽しく移動でき、より回遊性が高く、賑わいのある都心を形成していくために、LRT又はBRTの導入検討やちょい乗りバス・コミュニティサイクルの導入に向けた環境整備などに取り組み、移動手段の多様化を図ります。

事業一覧

- LRTやBRTの導入検討
名駅・栄間の連携強化、都心の回遊性向上が期待できるLRT等の導入可能性を検討します。
- ちょい乗りバスの導入に向けた環境整備
- コミュニティサイクル導入に向けた環境整備
- 公共性の高い移動手段の円滑な利用環境確保
名古屋駅周辺地区において、リニア中央新幹線の開業時のターミナル機能を念頭に、バス・タクシーの結節機能や観光バスの乗降機能の向上に向けた検討・環境整備を進めます。
- シェアリングシステムの普及促進
- 新たに開発される移動手段の検証



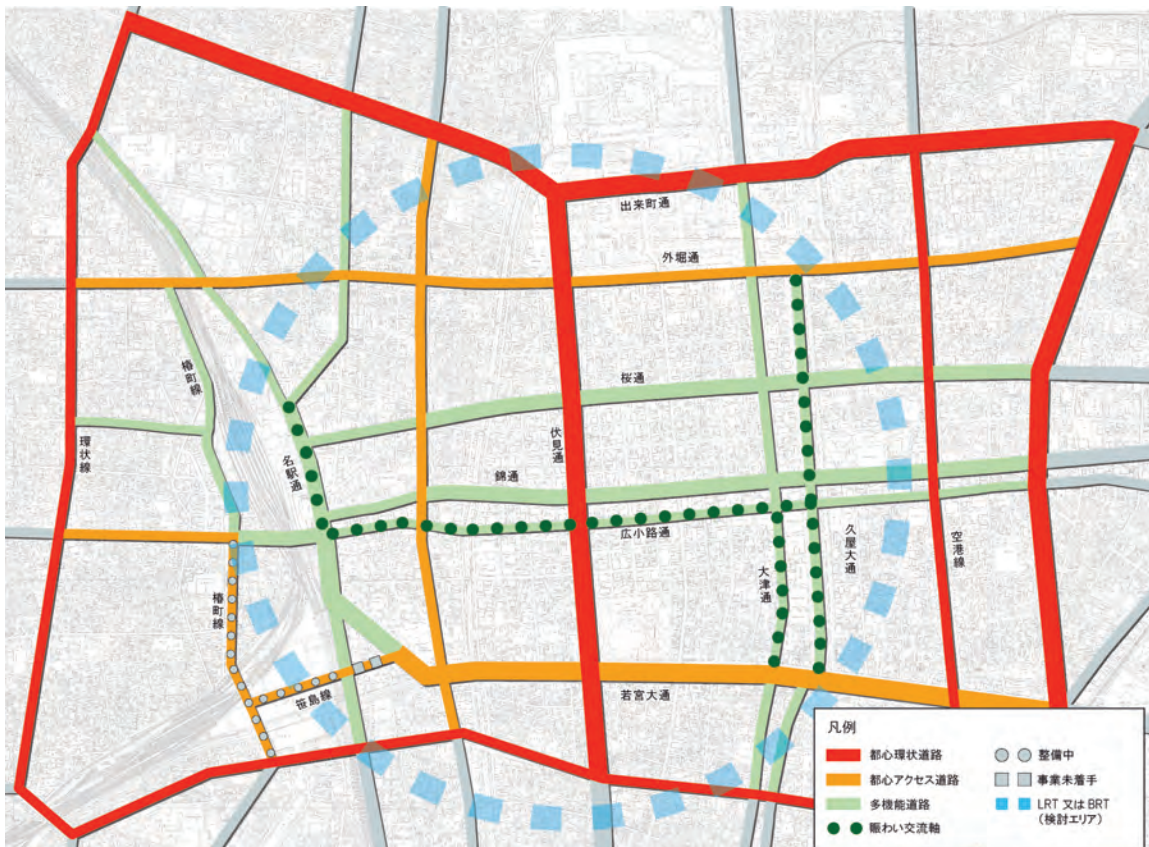


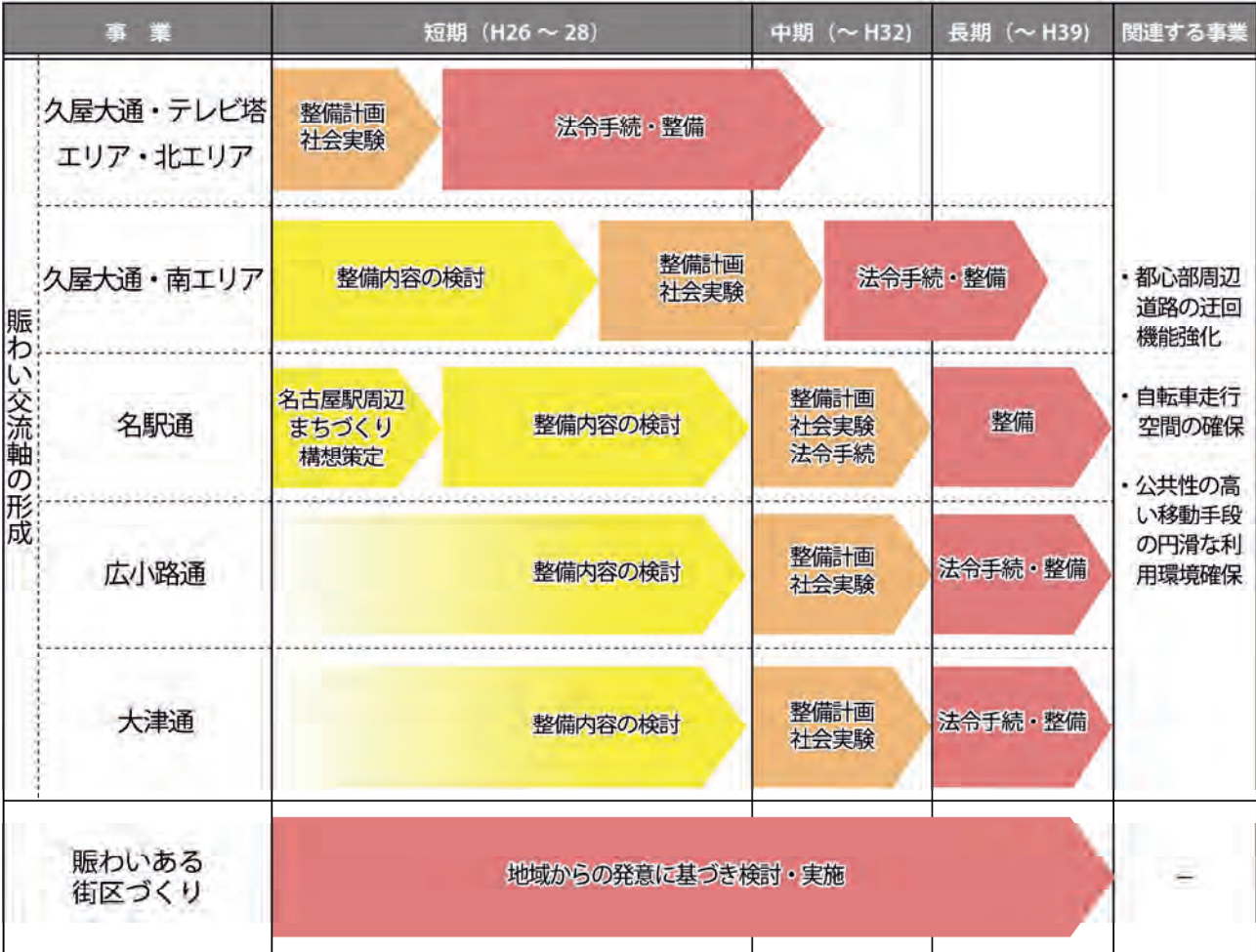
図 5-1-4 事業展開箇所図

- 賑わい交流軸の形成
賑わい交流軸と位置付けた名駅通、大津通、久屋大通、広小路通について、ソフト面での環境整備にも取り組みながら、地域の機運をふまえ、整備内容や整備区間などを具体化
その際には影響緩和などを検討・検証の上、段階的に実施
- 整備プログラムに基づいた道路整備
椿町線、笹島線の早期整備
- 都市計画駐車場の新たな利活用
都心部の都市計画駐車場での附置義務駐車場の集約先としての利用や栄地区での一体的利用を検討
- LRTやBRTの導入検討
名駅・栄の連携強化、都心の回遊性向上に向けて導入可能性を検討
- 公共性の高い移動手段の円滑な利用環境確保
名古屋駅周辺地区でバス・タクシーの結節機能や観光バスの乗降機能を向上
- その他の施策
施策展開していく地区も含め検討の上、段階的に実施

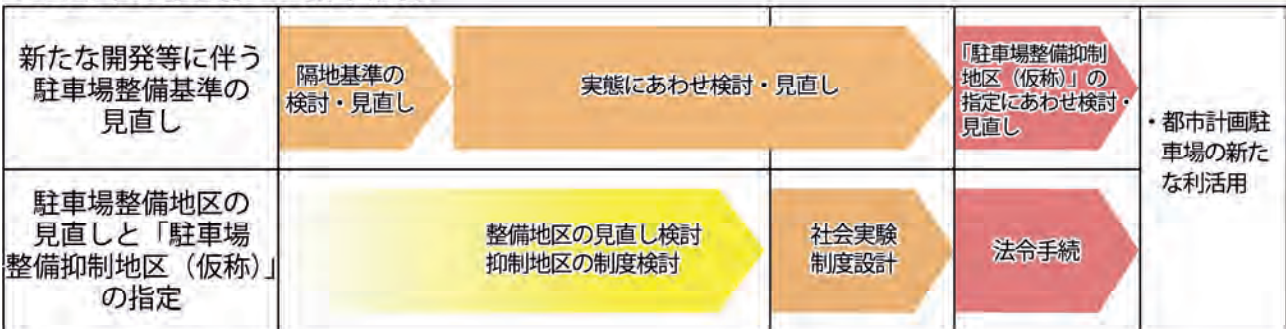
新たな展開を図る主な事業のロードマップ



○道路空間の主役転換



○自動車の都心部への集中緩和



○移動手段の多様化



図 5-1-5 主な事業のロードマップ

5-2 拠点駅そば・生活圏における施策展開

環境にやさしく、安心・安全に歩いて暮らせるコンパクトなまちへ

拠点駅そば・生活圏のまちづくりが目指す姿

地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを進めます。

本計画においても、こうしたまちづくりを支えるため、道路空間の主役転換の取り組みなど各施策の展開を図ります。

プランにおける施策展開内容

道路空間の主役転換

事業一覧

- ・賑わいある街区づくり
- ・暮らしの安全を守る街区づくり
- ・自転車走行空間の確保
- ・路面公共交通等の走行環境の改善
- ・歩行環境の改善
- ・整備プログラムに基づいた道路整備

※ すべて<拠点駅そば・生活圏>



自動車の都心部への集中緩和

事業一覧

- ・新たな開発等に伴う駐車場整備基準の見直し<拠点駅そば>
- ・都市計画駐車場の新たな利活用<拠点駅そば>
- ・パークアンドライド促進エリアの拡大<拠点駅そば・生活圏>
- ・郊外方向へのパークアンドライドの促進<拠点駅そば・生活圏>
- ・駐車場整備地区の見直しと「駐車場整備抑制地区（仮称）」の指定<拠点駅そば>

移動手段の多様化

事業一覧

- ・ちよい乗りバスの導入に向けた環境整備
- ・シェアリングシステムの普及促進
- ・新たに開発される移動手段の検証
- ・公共性の高い移動手段の円滑な利用環境確保

※ すべて<拠点駅そば>

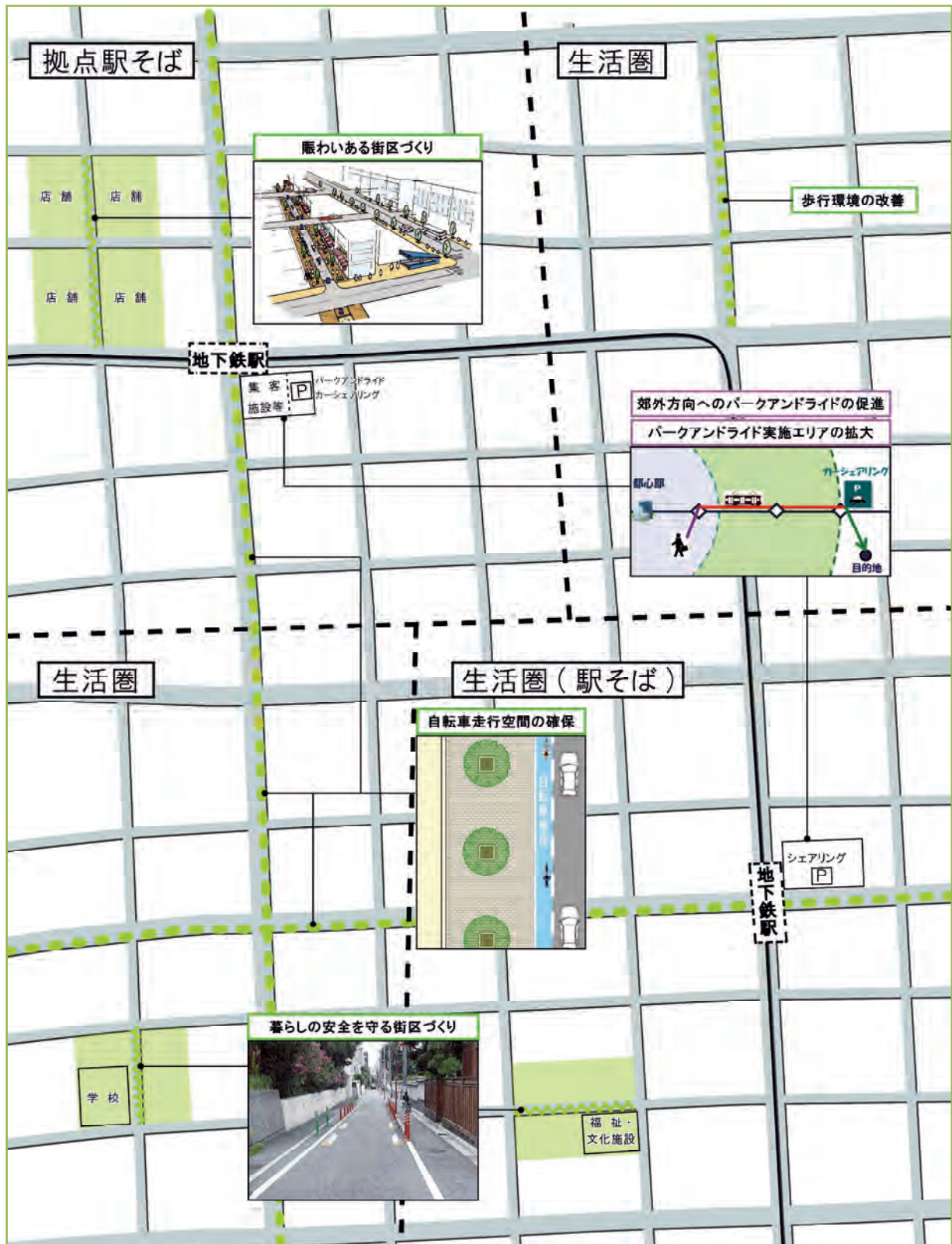


図 5-2-1 事業展開箇所のイメージ図

事業の進め方

地域の状況を踏まえ、順次実施していきます。

